

9月彼岸需要に向けてキク類の各産地は順調な生育！ ～ 本県産キクも出荷開始で市場PR ～

全国の各産地は順調な生育 入荷のピークは9月14日・16日か？

9月彼岸（今月19日～25日）は、一年の中で3月彼岸に次いで切り花の大きな需要期です。全国各地からこの需要期を目指し、あらゆる切り花が生花市場へ入荷します。

本県産の花きにおいても東京都中央卸売市場への入荷が最も多くなるのが9月で、花き全体の年間販売金額の25%を占めます。特に、スプレーギク、コギクについては、それぞれ年間の約30%、約50%がこの1ヶ月間で販売されます。（平成27年）

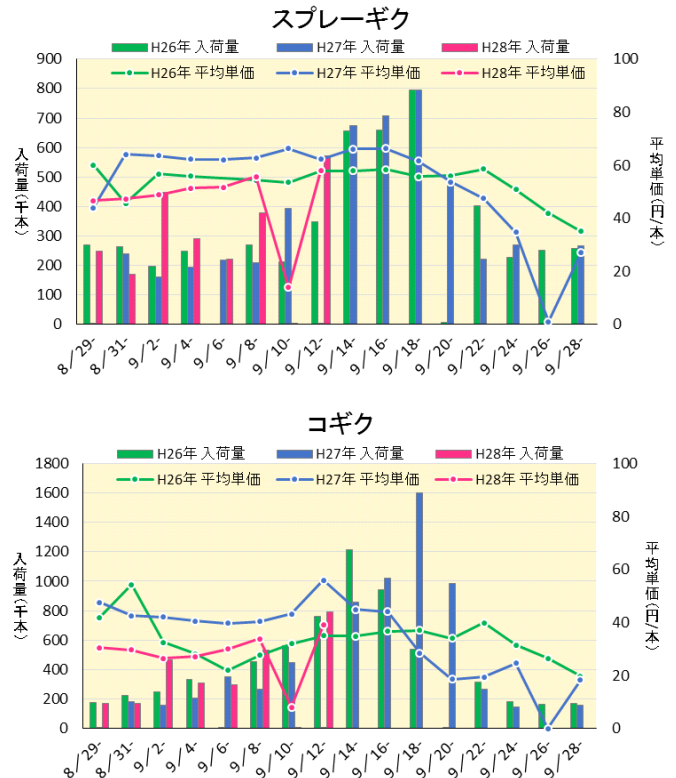
今年の本県産の状況は、一部で定植や生育時の乾燥により不揃いや草丈の不足が心配されましたが、概ね順調な生育で、需要期に合わせた出荷が行われる見込みです。また、吾妻地域では26年2月の雪害から復興したことにより、出荷量の増加が見込まれています。

全国の各産地では、キク類の出荷ピークは14日（水）、16日（金）の販売となる見込みで、市場担当者によると12日（月）、14日（水）が需要のピークとなる見通しです。



JAあがつま産の特徴である「ボンボン咲き」

大田市場におけるスプレーギク・コギクの日別入荷状況 (8月29日～9月28日)



需要期を前に国内最大市場でぐんまのスプレーギク、コギクをPR

都内生花市場における本県産スプレーギク、コギクの展示PR

- 日時：9月5日(月)～9日(金)
- 会場：都内3市場（大田、世田谷、北足立の卸売会社4社展示スペース）
- 主催：群馬県スプレーマム共同販売推進協議会

群馬県スプレーマム共同販売推進協議会では、旧盆向けに続き彼岸需要期に合わせて都内の主な生花市場（卸売市場4社）にて本県産スプレーギク、コギクの展示を行い、売買参加者や仲卸等に向けて、品質の高さや品種のラインナップをPRしました。



スプレーマムの市場展示（大田花き）



スプレーマムの市場展示（世田谷花き）